

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015.07.29		
所属学部	教育		
所属学科・専攻	中学校教員養成課程国語科教育分野	学年	4年

1. 留学先について

留学先大学名	Universität Leipzig ライプツィヒ大学		
留学先所属学部等	Philologische Fakultät, Institut für Germanistik 文献学学部 ドイツ語専攻		
留学期間	2014.08.04-2015.06.29	入学日	2014.10.01
		修了日	学期終了前に帰国
		帰国日	2015.06.29
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	15分	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	トラム・徒歩	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (バストイレ・キッチン) <input type="checkbox"/>	
食事	自炊 30 %	学食 60 %	外食 10 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	Educare21	
	大学指定の保険(名称)		<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)		
	成田(飛行機・仁川乗換)	⇄	フランクフルト ⇄ ライプツィヒ(電車)

2. 留学にかかった費用について

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 5万 円	<input type="checkbox"/> クレジットカード 円	<input type="checkbox"/> その他 ()
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (新生銀行国際キャッシュカード)

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	現金
住居にかかった費用	銀行口座引き落とし
その他	

2-3. 内訳

* 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	ユーロ	962	13万	円
海外旅行保険	ユーロ	41(月)	5500	円
OSSMA	ユーロ			円
査証・在留許可証	ユーロ	100	13500	円
住居	ユーロ	180(月)	24300	円
食費	ユーロ	150(月)	20000	円
通学に要する交通費	ユーロ	150(1学期)	20000	円
教科書、教材費	ユーロ	50(1学期)	6700	円
その他大学に支払った経費	ユーロ			円
光熱費	ユーロ	家賃に含まれる		円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位認定の有無	
1 ドイツ語(筆記)	正規		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
2 ドイツ語(会話B2)	正規		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
3 ドイツ語(発音)	正規		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
4 翻訳(日→独)	聴講		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
5 翻訳(独→日)	正規		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
6 ドイツ語教育入門	聴講		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
7 ドイツ語教育での映画	聴講		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
8 ドイツ語教育での学びと教え	正規		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
9 映画分析	聴講		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
10			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

学部学科によって異なる。

(ドイツ語学科)

授業に行って、教授に許可を得る。

(教育学部)

正規の学生と同じように登録をする。

学期の始まる2週間前くらいに登録の日がある。

(留学生向けドイツ語)

「授業登録日」があり、指定の施設に行き登録する。

3-2. 授業内容、方法に関して

(Vorlesung 講義)

千葉大のC号館くらいの大きさの講義室。

出席はとらない。

教授の話を聞いている形式。

たまに教授は学生に質問を投げかけ、議論になることもある。

(Seminar ゼミナール)

講義よりも少人数。多くて30人ほど。

発表をしたり、周りと相談したりする場合がある。

3-3. 語学力について

ライプツィヒ大学が交換留学生に求めているレベルはB1。

しかしB1ない場合でも、A2、A1向けのドイツ語コースも開講されているため、問題はないと思われる。

大学が始まる前に、3週間の語学コース(自費・ライプツィヒ)に通い、そこでB1を取得した。

留学中は、B2向けのドイツ語の授業を受けた。

3-4. 図書館など学内施設について

(図書館)

ライプツィヒ市内に点在。

メインキャンパスの図書館は24時間開館している。

ただ、メインキャンパスの図書館には、経済などの本しか置いていないので、ドイツ語学などの本を読みたい場合は、別の図書館にいかなければならない。そちらの図書館は、日曜休み、夜も遅くまではやっていない。

(PC・コピー)

学生向けのパソコンが、大学内にいくつもあり、満杯だという状況はあまりない。

ただし、日本語が入力できるパソコンは台数が限られている。

コピーは自費。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

町の中心までトラムで10分の、学生寮。
個人部屋は12m²。
一年住む分には特に不満もない部屋だった。

4-2. 食生活について

学食で昼夜を済ますことが多かった。
自炊するほうが安いと思うが、時間がなかったので、学食にした。
土日は学食が開いていないので、自炊をした。
日本食の調味料が普通に手に入るので、よかった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

寮には有線LANがついている。
携帯電話は、日本からSIMフリースマホを持って行き、現地でBlau.deのプリペイドSIMを購入。初期費用が約15ユーロ、月約10ユーロで2GBまで使用可能のプランにした。

4-4. 服装について

あまり派手な、日本人らしい服装はしないように心掛けた。
冬の厚手のコート、オペラ等に着ていくワンピースは現地で買った。

4-5. 健康管理について

風邪を引いたかもしれないという時は、ドイツでよくある「風邪に効くお茶」を飲んで寝たところ、よくなった。
あとは日本から持って行った常備薬を早めに服用して、悪化を防いだ。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

一度だけ歯医者にかかった。
歯医者の処置費・薬代すべて保険でまかなうことができた。

4-7. 課外活動について

冬学期に演劇のグループに入っていたが、本番を迎えることなく、途中で解散になってしまった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

とくになかった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

文房具類。

クリアファイル、下敷き、ペン等。

日本では100円ショップで買えるものが、ドイツでは300円とかする場合もある(質が上質だというわけでもない)ので、使い慣れたものがあつたほうが安心)。

化粧品類。

ドイツの物を使つたら肌がかぶれた。

ヨーロッパでは、化粧をしている学生は少なかった。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

日本語の小説。

読みたくなるかと思つて持つて行つたが、読む時間がなかつた。

ただ、日本の本はほとんど買えないので、自分の勉強に必要な本は持つていく、あるいはあとから送つてもらつたほうがいい。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

何事にも理由を交えて述べるのが大切。

逆に言うと、しかるべき理由をつければある程度のことは許容される。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

【ライブツィヒーリューベックーコペンハーゲンーハンブルクーライブツィヒ(9月)】

3泊4日

約5万円

【ライブツィヒーベルリン(9月)】

3泊4日

約2万円

【ライブツィヒーマイセン(2月)】

日帰り

約5000円

【ライブツィヒードレスデン近郊(3月)】

日帰り

約5000円

【ライブツィヒーケルンーアントワープーイーペルーライブツィヒ(5月)】

4泊5日

約6万円

その他

5. 報告

5-2. 留学先大学について

メインキャンパスは、街の中心に位置しており、活気があります。

授業はほぼメインキャンパスで行われています。

(スポーツ学科などは別のキャンパスの場合もあります)。

大学の設備はとてもよいです。建物も清潔感があり、図書館・パソコン室の席も十分にあります。

留学生も沢山いるので、外国人だからと嫌がられることは、大学内外でも少ないです。

なによりも、旧東ドイツということで、物価や家賃が安いのがいいところです。

5-3. 留学中の様子

学期中は、9時15分または11時15分から授業、その後学食で昼ごはん、午後は授業またはタンデム(日本学科の学生と一緒に、日本語とドイツ語を教え合う)をしていました。タンデムパートナーは3人いたのですが、生活に困った事・授業で分からない単語等、聞くことができたのでよかったです。夕食もだいたいの学食で済ませ、その後、図書館で9時半ごろまで勉強、帰宅、という生活をしていました。土日については、冬学期はあまり活動できずに終わっていたことが多かったのです。平日にやることが色々あったので、疲れていたのもあると思います。当時はそれが嫌だったのですが、今から思い返すと、休養も大切なことであつたと感じます。

冬休み・春休みは、課題をしていたら終わってしまった、という印象です。春休みには、ドイツ語で13枚レポートを書いたのが、大変でしたが、冬学期で学んだことを定着させ、夏学期に活かすということでは、書いてよかったです。

大型の旅行はあまりできなかったのですが、ドイツには、その州の中を電車で自由に行き来できるグループチケットがたくさんあるので、日帰り旅行はよくしました。

5-4. 留学希望者へのアドバイス

留学は、毎日が緊張の連続でした。意思疎通がきちんとできるのか、できているのか、常に不安でした。夜眠れなくなることもありました。ただ、その緊張は、いままで日本では味わったことのないものでした。緊張と同時に、高揚でもあったような気もします。そういった不思議な感情を体感できたというのは、自分にとって面白い経験でした。

とはいえ、すべてを不安なまま留学するよりは、少しでも不安の種を減らして留学に臨んだほうが、身の為ではあると思います。語学の上達は、なんといっても生きていく上で必要です。突然、見知らぬおじさんに抱きかかえられることがあるかもしれません。「下ろして！」と咄嗟に言えることは必要です。あとは、留学前の千葉大での勉強はとても役に立ちました。日本語である程度考えることができると、外国語での授業を聞いていても理解がしやすくなり、気分がとても楽になります。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

「国語」という一見海外とは関係なさそうな研究分野でも、留学ができたのは有難かったです。日本の国語教育との違いに気づくことができたので、それを卒論のテーマにしようと思っています。言葉のなかなか通じない土地で1年間生活することができた、というのは自信になりました。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版